

都市再生整備計画(第1回変更)

じゅう おかちく
自由が丘地区

とうきょうと めぐろく
東京都 目黒区

平成19年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>安全で快適な歩行空間を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場の整備 ・歩行空間の視認性向上 ・交通処理計画の策定 ・目黒区交通バリアフリー推進基本構想における特定経路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の整備①(地域生活基盤施設) ・駐輪場の整備②(道路) ・路側帯のカラー舗装(高質空間形成施設) ・歩行環境ゾーンの交通システム策定支援(まちづくり活動推進事業) ・駅広の歩道整備(道路) ・女神ストリートの整備(道路・高質空間形成施設) ・駅前広場整備計画検討調査(事業活用調査)
<p>住宅と商店のバランスのとれた自由が丘らしいおのいのある街並み形成をすすめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報板等の整備 ・ストリートの個性創出 ・街並み形成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリート案内板整備(高質空間形成施設) ・駅前情報板整備(地域生活基盤施設) ・マリクレールストリート、サンセットアレイ等整備(高質空間形成施設) ・マリクレールストリートの基層整備(道路) ・街並み形成指針策定支援(まちづくり活動推進事業) ・まちづくり協定策定支援(まちづくり活動推進事業) ・補助127号線駅前地区まちづくり活動支援(まちづくり活動推進事業)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TMOによるまちづくりへの取組み 株式会社ジェイ・スピリットは平成14年7月に設立され、平成15年3月目黒区からTMOとして認定されたまちづくり会社であり、「自由が丘らしさの継承と人にやさしいまちづくり」をまちづくりコンセプトに活動している。同社はまちづくり事業の一環として平成15年度、国土交通省の「くらしのみちゾーン・トランジットモール」地区に申請し登録され、平成16年度「トランジットモールと楽しく、安全に歩ける歩行空間創出実験」をテーマとして社会実験を実施した。平成17年度も引き続き「共同集配システムを用いた路上荷捌き車削減実験」をテーマに社会実験の申請を行い、同省より採択され実験実施に向け取り組んでいる。これらの実験結果は、今回の都市再生整備計画の「女神ストリート整備事業」に取り入れられているだけでなくソフト事業である「まちづくり活動推進事業」に反映されていくものである。 ・鉄道事業者による駅舎改良工事 鉄道事業者である東急電鉄株は「交通バリアフリー法」に基づき平成17年度から自由が丘駅のエレベータ、エスカレータの設置工事、併せて耐震補強工事や駅舎の改良工事に取り組んでいる。駅舎のバリアフリー化は、平成16年3月に策定された「目黒区交通バリアフリー推進基本構想」の特定事業として計画されており、他の工事も歩行環境改善に寄与するものであることから、駅周辺のバリアフリーネットワーク化を進める事業の一環として都市再生整備計画の関連事業に位置付けている。 ・隣接区による自転車駐車場等の整備 自由が丘駅周辺は目黒区と世田谷区の区境であり、これまで両区で協議、調整を行いながら自由が丘地区のまちづくり事業を展開している。その中で放置自転車対策は両区にとって喫緊の課題となっており、鉄道事業者である東急電鉄株と協議を進め、同社の用地を活用して自転車駐車場整備の運びとなった。世田谷区は平成18年度に自転車駐車場(約500台)を整備する予定になっており、自由が丘駅周辺地区の放置自転車台数の削減に寄与することから都市再生整備計画の目標達成に貢献する事業として考えられる。 	

都市再生整備計画の区域

自由が丘地区(東京都目黒区)	面積	76 ha	区域	自由が丘一・二・三丁目、緑が丘二丁目、中根一丁目23・24・25全域
----------------	----	-------	----	------------------------------------

